

1. 道下・経田地域の現況・課題

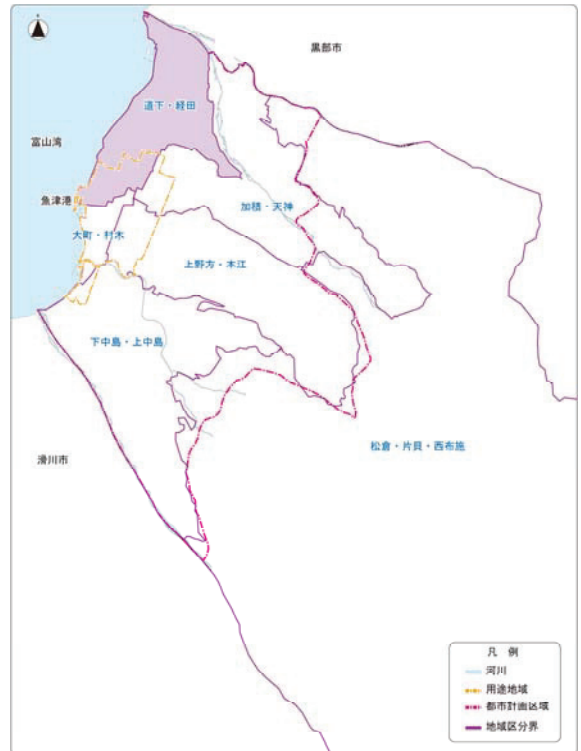
(1) 位置・地域概要

本地域は、魚津市の北西・北部に位置し、西は富山湾に接しています。

産業構造は多岐に渡り、あいの風とやま鉄道魚津駅周辺では商業施設が集積するほか、農業では、水稻を中心に野菜等を産出しています。また、港で水揚げされる魚介類等の水産物が特産となっています。

あいの風とやま鉄道と富山地方鉄道が地域を横断し、魚津駅と新魚津駅、経田駅があります。また、国道8号バイパスの開通に伴い、沿道での 10,000 m²を超える商業系の開発が行われています。

道下地区の北鬼江一丁目・北鬼江二丁目・仏田・仏又・青島・北中・本新・高畠・北鬼江・釈迦堂・釈迦堂一丁目・本新町、経田地区の立石・江口・西尾崎・平伝寺・持光寺・新経田・浜経田・東町・経田中町・経田西町・寿町・岡経田・天王から成り立っています。

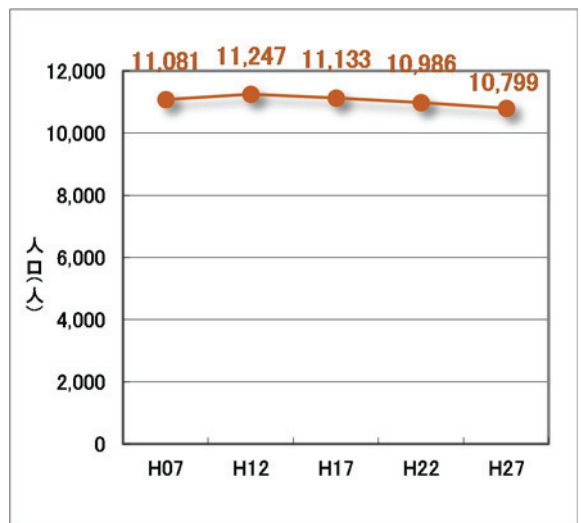


(2) 地域人口

本地域の人口は、平成7年以降、増減を繰り返しながら、減少しており、平成27年における本地域の65歳以上人口の割合は28.3%となっています。

人口の推移は、平成7年に11,081人であった人口が、平成17年に11,133人、平成27年に10,799人となっており、過去10年間で334人、過去20年間で282人減少しています。

また、世帯数は平成7年に3,338世帯、平成27年に4,204世帯と増加傾向を示しています。



※平成27年の65歳以上人口割合、世帯数は
住民基本台帳（9月30日）の数値

(3) 土地利用

本地域では、平成 17 年から平成 27 年までの間に、10,000 ㎡を超える店舗の他、宅地開発を含め、開発が計 4 箇所行われています。

【開発一覧】

市受付年月	開発区域に含まれる地域の名称	地区名	開発面積 (㎡)	建築物の用途
H18.4	仏田字下道	道下地区	7,203	一戸建て住宅
H18.11	江口	経田地区	3,393	一戸建て住宅
H22.9	江口	経田地区	14,078	店舗 (テナントビル)
H24.1	江口	経田地区	10,515	店舗

(4) 都市計画

本地域の一部に用途地域が指定されています。

都市計画道路 12 路線が地域内を縦横断しており、その内、カーバイド上村木線、国道 8 号バイパス (入善黒部魚津 8 号バイパス線) に未整備区間があります。また、国道 8 号バイパスは暫定 2 車線で供用を開始しています。

都市公園は、街区公園が 5 箇所あり、開設済面積は 2.03ha、平成 27 年度末人口が 10,866 人であることから地域住民 1 人当たりの公園面積は約 1.87 ㎡ (市平均 15.03 ㎡ : 公園面積 / 都市計画区域内人口) となっています。

その他、本市施行の魚津火災復興地区、魚津駅前地区、魚津駅西地区、個人施行の新経田地区の土地区画整理事業が施行されています。

また、新たに経田中央地区の土地区画整理事業が施行中です。

【都市計画道路】

路線番号	都市計画道路名
3・2・1	魚津駅中央線
3・3・17	魚津バイパス線
3・3・21	入善黒部魚津 8 号バイパス線
3・4・2	魚津駅本新線
3・4・3	北鬼江吉島線
3・4・4	魚津駅中川線
3・4・5	片貝早月線
3・5・7	魚津駅友道線
3・5・9	魚津中央線
3・5・10	カーバイド上村木線
3・5・18	魚津駅西 1 号線
8・7・1	魚津駅地下道線
計	12 路線

【都市公園】

単位 : ha

番号	種別	名称	公園面積	開設済面積	計画決定年月日告示番号
7	街区	市役所前公園	0.61	0.61	S42.4.5 市告第 1332 号
2.2.12	//	本新 1 号公園	0.30	0.30	S62.11.17 市告第 57 号
2.2.13	//	北鬼江 1 号公園	0.33	0.33	//
2.2.14	//	北鬼江 2 号公園	0.25	0.25	//
	//	経田海浜公園	0.54	0.54	
合計		5 公園	2.03	2.03	

【土地区画整理事業施行箇所一覧表】

施行地区名	施行面積	施行年度	施行者
魚津火災復興地区	62.5ha	S31～S36	魚津市
魚津駅前地区	33.6ha	S38～S50	//
魚津駅西地区	27.5ha	S55～H7	//
経田中央地区	3.5ha	H19～H28	//
新経田	1.2ha	H16～H17	個人

(5) 住民意向

将来の生活基盤整備に関する住民意向について、当地域と市全域を比較すると、経田地区では「生活道路網の整備」に関する割合が大きく上回っており、関心が高いことがわかります。また、道下地区では、市全域の割合を大きく上回るものはありませんが、「幹線道路網の整備拡充」の関心が比較的高くなっています。

		魚津市をもっと住み良くするために、どのような生活基盤の整備を要望しますか														
		合計	幹線道路網の整備拡充	生活道路網の整備	公共交通対策	交通安全対策	上・下水道の整備	公園・緑地の整備	駐車場、駐輪場の整備	住宅と工場、倉庫、店舗などの混在の解消	宅地の混在解消	市街地のなかの農地と新しい住宅地の整備	市街地の再開発の促進	その他	無回答	
市 全 域		件	1,522	165	537	524	303	70	203	88	78	63	103	448	64	50
		%	—	10.8	35.3	34.4	19.9	4.6	13.3	5.8	5.1	4.1	6.8	29.4	4.2	3.3
地区別	道下	件	208	26	76	66	39	5	31	16	16	13	6	63	11	6
		%	—	12.5	36.5	31.7	18.8	2.4	14.9	7.7	7.7	6.3	2.9	30.3	5.3	2.9
	経田	件	167	16	75	58	39	15	18	8	6	3	12	40	3	6
		%	—	9.6	44.9	34.7	23.4	9.0	10.8	4.8	3.6	1.8	7.2	24.0	1.8	3.6

また、当地域では「市長のタウンミーティング」、「第4次魚津市総合計画策定時の地区別ワークショップ」、「意見交換会」、「地域福祉座談会」において、都市計画に関する事項として以下の意見・要望、課題・取組に必要な支援が整理されています。

地区名	市長のタウンミーティングによる意見・要望
道下地区	駅前新町のガード下（鉄道交差部）の路線を2車線化して欲しい
経田地区	中央地区の土地区画整理事業施行後も、北・南地区を継続して施行して欲しい

地区名	第4次総合計画ワークショップによる課題・取組に必要な支援
道下地区	課題 ・通学・通勤などの安全性の確保やお年寄りが安心して歩ける生活道路の整備が必要です。鉄道を挟んで海側～山側のアクセス道路も ・子ども図書館やのびのび遊べる運動公園の整備が強く望まれています 取組に必要な支援（すでに事業化しているもの・支援可能なもの） ・市からの準備情報、避難勧告、避難指示など早く決断し明解に発信する ・気象庁からの注意報、警報、特別警報を市からも同時に住民に発信する ・ハザードマップの作成と住民への伝達 ・防災訓練、防災資機材、避難所の準備などを支援 ・防災講演会を開催し広く住民意識の高揚を図る ・適切な照明による夜間歩行者の安全確保（危険箇所を把握し対策）をする 取組に必要な支援（支援実施に向けて検討を始めるもの） ・車道、歩道、自転車道路の分離帯を備えた生活道路の建設（鉄道に沿って道下～経田を結ぶ安全な道路の建設…防災対策や小学校の統合も視野に）
経田地区	課題 ・住宅密集地には防災や環境面で不安があります ・狭くて暗い道が多く、歩道が少ない状況です ・老朽化した空家が増えています 取組に必要な支援（すでに事業化しているもの・支援可能なもの） ・空家除却の法的整備 ・防犯灯の整備 取組に必要な支援（支援実施に向けて検討を始めるもの） ・消防車などが通ることができるような道路の拡張 ・側溝・歩道の整備

地区名	意見交換会・地域福祉座談会などによる意見・要望
道下 地区	市民の集う朝市通りの検討などによる賑わいづくりが必要である
	魚津駅の複合ビル化の検討などによる魚津の顔づくりが必要である
	防災対策に向けた道路整備などによる安全・安心な町づくりが必要である
	コミュニティバスの運行を増やしてほしい
	小売店がほとんどなく、食品、日用品の買い物が不便である
	街灯が少なく暗いところがある
	東西の道路はあるが南北の道路がない（8号までのアクセスが不便）
経田 地区	土地区画整理事業により整備された経田駅前の道路などの表現に留意すべきである
	魚津テクノスポーツ展望塔からは「毛勝三山」を眺望することができる
	土地区画整理事業の継続に向けて、新たな施行範囲を示してほしい
	道幅が狭く、横断歩道・ガードレールがない
	緊急車両が入れない住宅密集地がある
	下水道施設の不備
	街灯がない
	空家が増加し、放置されている
	若い世代の転出が多い

(6) 地域の課題

本地域の現況を踏まえて、課題を以下に整理します。

	現 状	課 題
位置・地勢・人口	- 商業・農業・漁業が主な産業です。 - あいの風とやま鉄道魚津駅、富山地方鉄道新魚津駅があります。 - 国道8号バイパスの開通に伴う商業系の開発が見られます。 - 人口は、平成7年以降、増減を繰り返しながら、減少しています。(20年間で約280人の減少) - 世帯数は、増加しています。	○産業振興に寄与する土地利用の促進 ○住宅用地と優良な農用地の調和 ○駅周辺における魅力のある市街地の形成、あいの風とやま鉄道と富山地方鉄道の乗り換え利便性向上及び新魚津駅のバリアフリー化 ○国道8号バイパス沿道の適正な土地利用の規制・誘導 ○計画的な住宅・土地の供給による定住環境の向上 ○空家・空地の利活用
土地利用・都市計画	- 平成17年から平成27年までの間に、店舗、宅地等の開発が4箇所行われています。 - 本地域の一部が用途地域に指定されています。 - 都市計画道路12路線が地域内を縦横断しており、その内、カーバイド上村木線、国道8号バイパスに未整備区間があり、国道8号バイパスは暫定2車線です。 - 都市公園は、街区公園が5箇所あり、開設済面積が2.03haと1人当たりの公園面積は約1.87㎡です。 - 魚津火災復興地区、魚津駅前地区、魚津駅西地区、新経田地区の土地区画整理事業が施行されている他、新たに経田中央地区の土地区画整理事業が施行中です。	○適正な開発の誘導による計画的な土地利用 ○土地利用状況を踏まえた用途地域や、防火地域・準防火地域の見直し検討と用途地域に基づいた土地利用 ○低未利用地の有効利用や都市基盤整備の充実 ○都市構造の変化を踏まえた都市計画道路の見直し検討と計画的な整備 ○国道8号バイパスの4車線化の促進 ○住民の憩いの場や災害時の避難場所等となる身近な公園の整備 ○住民との協働による公園の維持管理・緑化 ○事業後における良好で安全な住環境の維持と災害に強いまちづくりと安心・安全に暮らせる住環境整備の促進

	課 題
住 民 意 向	住民意向調査 道下地区 ○住宅と工場、倉庫、店舗などの混在の解消 ○市街地のなかの農地と宅地の混在解消 ○駐車場、駐輪場の整備 ○幹線道路網の整備拡充 ○公園・緑地の整備 ○生活道路網の整備 ○市街地の再開発の促進 経田地区 ○生活道路網の整備 ○上・下水道の整備 ○交通安全対策 ○新しい住宅地の整備 ○公共交通対策
	市長のタウンミーティング 道下地区 ○駅前新町のガード下（鉄道交差部）の路線の2車線化 経田地区 ○土地区画整理事業実施地区の隣接地区における道路・下水道の整備
	「第4次魚津市総合計画」策定時の地区別ワークショップ等 道下地区 ○通学路等地域の交通安全対策 ○鉄道を横断するアクセス道路の整備 ○子どもが遊べる施設の整備 経田地区 ○住宅密集地の解消による防災・住環境（道路整備等）の向上 ○通学路等地域の交通安全対策 ○空家・空地の対策 ○雨水幹線の整備

※住民意向の課題は、都市計画上の課題を抽出し整理している

2. 道下・経田地域の将来像

基本理念

賑わいのある商業・業務地の創出と 美しい海岸に面した安全・快適な住環境の形成

にぎわう：まちの顔として魚津駅周辺に商業・業務施設を集積します

本地域の南部には、市の玄関口となるあいの風とやま鉄道魚津駅が位置し、その東側一帯には商業・業務施設が集積していることから、魚津の中心市街地の一端を形成しており、国道8号の開通による沿線の開発も見られます。

今後は、魚津の顔として、あいの風とやま鉄道魚津駅周辺の商業施設集積を目的に、適正な土地利用計画と幹線道路網の配置、あいの風とやま鉄道と富山地方鉄道の乗り換え利便性向上や新魚津駅のバリアフリー化、駅西広場の整備等により、回遊性と賑わいのある魅力的な商業・業務空間の形成を目指します。

一方、国道8号沿道の適正な土地利用の規制・誘導等により、良好な田園環境と住環境の調和を目指します。

うけつぐ：美しい海岸と調和した街並みを形成します

本地域にある地方港湾魚津港と経田漁港は、豊かな漁場である富山湾の恵みを受けた水産物の流通拠点となっています。また、地域の海岸部を横断するしんきろうロードは、美しい海岸景観が眺望でき、沿道には蜃気楼展望地などの景観核が点在しています。

今後は、周辺環境と調和した幹線道路の整備、魚津港・経田漁港の機能拡充や市内外への情報発信による産業振興等により、豊富な水産資源を活用しながら海岸景観と調和したまちづくりを目指します。

ふせぐ：災害に強いまちを形成します

本地域の北部には、古い街並みが広がっており、狭い道路や木造住宅の密集している地区では災害時の危険性があったことから、一部の地区では土地区画整理事業等による安全な住環境が形成されてきています。

今後は、事業後における良好で安全な住環境の維持を図るとともに、より一層地域の安全性や快適性の向上を図るため、道路、公園、上下水道等の生活基盤整備などや空家・空地の利活用、避難経路の確保・周知、地域の東西連絡強化に向けた鉄道横断道路の整備、雨水幹線の整備、まちづくり活動による地域コミュニティの活性化等により、災害に強く温もりのあるまちづくりを目指します。

